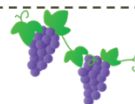




CONTENTS

- ◆MESSAGE・VOICE
- ◆第2回「異分野研究交流カフェ」を開催しました 2020.7.9 (木) Zoom開催!
- ◆研究者支援経費プログラムの採択者が決定しました
- ◆国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 「女子中高生のための理系進路選択支援プログラム」 「ひょうご理系女子未来塾」が2度目の採択 (令和2年度)
- ◆女性活躍総合研究所部門紹介
- ◆子育て支援 (ラビークラブだより) ・ベビーシッター派遣事業割引券について
- ◆男女共同参画推進室の紹介
- ◆子育て・介護・働き方相談窓口のご案内 他
- ◆研究支援員制度・オンデマンドチューターのご案内



ダイバーシティ
研究者支援経費
プログラム採択者
決定!
※一部選考中
(次のページへ)



MESSAGE



柏木 敦子 音楽学部長

日本最大の女子総合大学として目覚ましい発展を遂げ、2039年の百周年に向けスタートを切った本学では、その波を一層推し進めるかのように2020年4月に「女性活躍総合研究所」が開設されました。

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」にも採択され、他大学や一般企業との協力のもと、女性がより活躍しやすい環境を整えるための多くの取り組みを進めています。これまでに本学が築き上げてきた「自立した、社会に役立つ有能な女性の育成」は益々多様性を帯び、80年前の創立時より長らくモットーとしてきた本学の先見性の高さを証明しています。現在、各分野で多くの卒業生が活躍し、後輩たちを見守ってくださっていることもその証です。

私の学んできた分野は音楽の中でも女性がいなくては成り立たない「声楽」であるため、演奏においては男女差を感じることなく平等に、それどころか女性がプリマ・ドンナとして優先されてきました。また、在籍する音楽学部の教員構成においては専任女性教員の割合は64%、と女性の比率の高い学部です。

このように、当然として女性の存在があり、男女が全く同じ仕事をということではなく、それぞれの特性を尊重しつつお互いを補いながらの共生により、各々の優位性がより開花できるように、と常々思っています。

まず「男女共同参画」という言葉が気負うことなく受け入れられる時代になること、そしていずれは辞書にあるだけの用語となるよう望んでいます。

VOICE

VOICEとは・・・子育て・介護・働き方等について、教職員の方の
日頃感じていることや体験談をご紹介します♪

子供の頃から水泳、野球、ラグビーと運動に明け暮れていた私が、今は息子の趣味に付き合い、週末は野鳥観察に出掛けている。何時間も同じ場所で目当ての鳥に出逢えるのをジッと待つのだ。息子は運動にはあまり興味がなく、親子であっても全く違うところが不思議である。

以前は、キャッチボールをしたり、海で一緒に泳ぐことが出来ないことを残念に思っていたが、私が全く知らない一眼レフカメラの使い方を独学で覚え、野鳥が獲物を捕らえる瞬間を撮影する姿を見ていると、なかなかやるなあと誇らしくも思える。大学生や年配者の輪に入り、鳥の識別や、渡り鳥の情報交換、撮影テクニックを議論している姿には、あこがれてしまう瞬間もある。

息子は自分とは違うカラーを持っている。子供たちは一人ひとり違う個性があると改めて感じる。職場でも、目の前の学生たちは、個性豊かで多彩な能力をそれぞれが持っている。テストだけでは知り得ない持ち味や好奇心を尊重し、一人ひとりが個性を伸ばしていけるよう温かく見守っていきたい。



宇佐美 彰規 准教授
(英語文化学科)





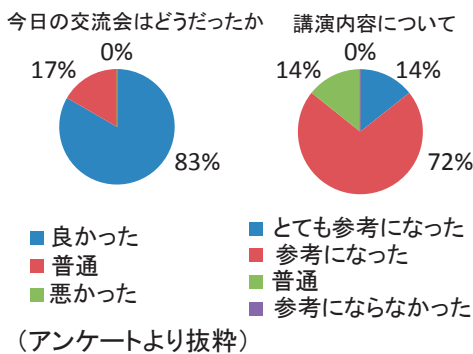
女性活躍総合研究所は、文系・理系や機関の枠を超えて研究者が気楽につどい、新しく異分野研究者とのネットワークをつくるとともに、交流を通じてこれまでにないまったく新しい発想や共同研究が生まれる出会いの場として、「異分野研究交流カフェ」を開催しています。この企画は、本学が2019年度に採択された文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)代表校:奈良女子大学」事業の一環として行われています。今回、オンラインで2020年7月9日(木)16:00~17:30に開催した内容をご紹介します。

国立大学法人東京農工大学大学院工学研究院応用化学部門教授の寺田昭彦先生による講演「～農工融合による窒素に起因する水環境汚染修復への取り組み～」の後、講師も加わり交流会を行いました。本学以外に、奈良工業高等専門学校や奈良女子大学から文系・理系の研究者15名が参加し、機関を越えた新しい共同研究が生まれつつあります。

参加者からは、「どんな研究をされている方がどこにいらっしゃるのかが分かって良かった」「初対面で、さらに複数一度の交流は難しさがありました」「動物実験が出来る共同研究者を探しています。当方の研究紹介をさせて頂ける場があるとありがたいです」など、交流会の課題や新しい提案など多くの有益なご意見をいただきました。

これからも新しい研究者との楽しい出会いの場として企画いたしますので、是非気楽にご参加ください。

(ダイバーシティ化推進部門 福尾恵介)



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)の事業として、本年度は4つのプログラムで支援経費の募集を行い、2つのプログラムの採択者が決定しました。なお、昨年度の実施内容については報告書に記載されていますのでぜひご覧ください。



『2019年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)成果報告書』が発行されました！
詳細はホームページへ
<https://diversity.mukogawa-u.ac.jp/>



No.	研究支援プログラム名	支援額	採択件数	受賞者/研究代表者	研究課題名
1	令和2年度「ダイバーシティ推進センター女性研究者賞」	20万円	2	小林 知未 (食物栄養学科)	地域における子どもの生活習慣応援事業(こども食堂)での食育支援とその評価に関する研究
				竹本 由美子 (生活環境学科)	安心・安全に繋がる蓄光布の暗所における高視認性及び持続性に関する研究
2	令和2年度「共同研究スタートアップ支援経費」	総額50万円	1	諸井 美樹 (食創造科学科)	食品ロスに対する意識及び行動の実態調査-新型コロナウイルスの流行が与えた影響-

「異分野交流会共同研究スタートアップ支援費」及び「武庫川女子大学復帰スタートアップ研究支援費」は現在選考中です。

女性活躍総合研究所の次世代女性人材育成部門で取り組んでいる「ひょうご理系女子未来塾」が、平成29年度に本事業に選定されて以来2度目の採択となりました。これまでの取り組みをさらに発展させ、理工系分野に関する興味喚起や進路意識・キャリア意識の醸成、理系進路選択を後押しする保護者、教員の増加を目的として、「私の未来を創造するMuko Labo(武庫ラボ)4Cプロジェクト」を推進していきます。

武庫川学院創立 80 周年を記念して、令和 2 年 4 月に女性活躍総合研究所が開設されました。本研究所は、生涯にわたる女性のキャリア開発に資する各種事業を探索し開発することを基本理念とし、ジェンダーギャップを越えた女性の育成と支援を目標とします。「女性活躍推進部門」、「グローバル化推進部門」、「ダイバーシティ化推進部門」、「次世代女性人材育成部門」、「女性生涯キャリア支援部門」の 5 つの部門で女子総合大学の強みを生かし継続的に調査・研究を行います。

また、国連で制定されました 3 月 8 日「国際女性デー (International Women's Day)」について学生、教職員及び学外の多くの方へ広報活動を進めていきます。

所長
高橋享子

(食物栄養科学部)



女性活躍推進部門



部門リーダー
宇野朋子
(建築学科)



竹本由美子
(生活環境学科)



吉田都
(薬学科)

女性研究者を中心に女性がより活躍できる環境づくりのための支援や研究を行います。

- (1) 女性研究者の研究活動を推進するための環境整備に関する研究・評価
研究者どうしのつながりを「みつけ」、スキルを「みがき」、研究を「きわめる」ための研究支援とシーズ開拓を行います。
- (2) 女性のライフワークバランスの充実のための支援に関する研究
女性研究者を中心としたワークライフバランスに関する調査を継続的に行い新しい働き方を提案します。

グローバル化推進部門



部門リーダー
吉田徹
(食創造科学科)



A.L. エイデン
(共通教育部)



西尾亜希子
(共通教育部)



吉川紀子
(薬学科)

本学教職員による研究教育活動のグローバル化を推進するための企画研究に取り組みます。

- (1) 実践的な英語口語能力を高める教材の研究開発
- (2) 英語による発表能力を高める啓蒙セミナーの企画開催
ネイティブ講師による講演発表やオンデマンド英語チューターレッスンによるフィードバックを行います。
- (3) 国内外における英語発表の試験的な企画提供
英語による国際発表機会の場を設定します。さらに可能であれば、国際間の共同研究立ち上げへの支援を行います。

ダイバーシティ化推進部門



部門リーダー
福尾恵介
(食物栄養学科)



永田隆子
(オープンカレッジ)



清水佐知子
(看護学科)

2019 年度文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型) 2019-2024」に奈良女子大学を代表校として採択され、ダイバーシティ化推進部門が中心となり他部門と協同で取り組んでいます。研究スタートアップ支援講座 (統計学セミナーや英語プレゼンテーションセミナー) や研究支援員制度に加え、奈良女子大学が中心に取り組む「訪問型」病児・病後児保育システムのモデル構築などにより、女性研究者の環境整備の充実に取り組めます。さらに、本学独自の事業として、「異分野研究交流カフェ」では新しい発想が生まれる出会いの場を提供しています。

次世代女性人材育成部門



部門リーダー
長谷川裕紀
(共通教育部)



和泉志穂
(情報メディア学科)



山下紗矢佳
(経営学科)

科学技術振興機構 (JST) の採択取組である「ひょうご理系女子未来塾」の活動を中心に、次世代を担う女性人材を育成するための取り組みを行います。

- (1) 産学官の連携によるキャリア教育プログラムの開発研究
女子生徒が文理を問わず、将来の夢を描き、そのキャリアを実現するためのキャリア教育プログラムを開発します。
- (2) 「未来塾キャリア・パスポート」の開発研究
学校教育現場で導入が始まっている「キャリア・パスポート」のひょうご理系女子未来塾版を開発します。

女性生涯キャリア支援部門



部門リーダー
高橋千枝子
(経営学科)



吉井美奈子
(教育学科)



神栄美穂
(経営学科)

女性の生涯にわたるキャリア形成に関する研究および支援を行います。

- (1) 女性のキャリアに関する調査研究
武庫川女子大学 OG を中心としたキャリア形成や、近畿圏企業を対象とした女性従業員のキャリア形成に関する調査研究を行います。
- (2) 女性のキャリア開発に関する支援
女性活躍セミナー、キャリア開発に必要なビジネススキル講座を実施します。
- (3) 外部機関と連携した女性のキャリア開発プログラム
女性の起業塾プログラム、女性リーダー育成プログラムの開発を行います。

ミモザの花について

3 月 8 日は、国連により『国際女性デー (International Women's Day)』と制定され、女性への差別撤廃と女性の地位を訴える日となっています。また女性に感謝の気持ちを込めてミモザの花を送ったことから、別名「ミモザの日」とも呼ばれています。女性活躍総合研究所のシンボルフラワーとしています。

ラビークラブだより



～ ラビークラブが「認可外保育施設」になりました ～

ラビークラブは2020年4月、西宮市に認可外保育施設設置届を提出いたしました。今後、認可外保育施設としてさらに充実した保育サービスを提供していきます。また、これに伴い、ご利用申込はこれまで利用日の2日前まででしたが、4日前までとなります。業務は定評のある株式会社ポピンズに委託しています。

土日祝日も開室しています（利用時間7：30～21：30）。お気軽にご利用ください。



～ コロナ禍でのラビークラブ ～

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休校の対応として、3月以降もラビークラブを通常通り開室しました。また、3月2日～5月2日は学院からの支援により、利用料を無料で提供しました。期間中は多くのご利用があり、3月から5月の合計利用者数は延べ120名となりました。

ラビークラブ利用者数

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
延べ人数	10	70	40	7	3	1



ラビークラブでの様子

～ 私とラビークラブ ～



田野 晴子 助教
(看護学科)

緊急事態宣言を受け、小学校が突然の臨時休校となりました。私が子どもの預け先としてラビークラブを選んだのは、学院内の施設という安心感と、職場（看護のキャンパス）からラビークラブが近いことで送迎時間が少ない、という点からです。これまで利用をしたことがなかったため、子どもが保育士の先生や環境と馴染めるか、などが気になりましたが、実際に利用してみると先生たちは経験豊かな方が多く、子どもの月齢に応じた対応に安心感がありました。子どもはすぐにラビークラブに馴染んでいました。

お迎え時に一日の様子を書いたレポートをいただけるので、帰り道に子どもと一日の出来事を話しながら帰るのが楽しみでした。子どもは「楽しかった。また行きたい！」と、ラビークラブでの出来事をたくさん家庭でも話しています。利用の度に新しい遊びや工作を用意してくださっており、行くのが楽しみなようです。

また、3/2～5/2の利用料金無料期間中は大変助かりました。私の母は電車で片道1時間20分の距離に住んでいますので、新型コロナウイルス感染拡大の状況下で、高齢の母には頼めない、と思っていました。民間の託児所もできるだけ利用を控えてください、とのことだったので、困っていました。利用料金が無料で子どもを預けられ、安心して勤務ができました。

今後も機会があればラビークラブを利用したいです。土日の対応もして下さるので心強いです。



ベビーシッター派遣事業割引券について

本学は教職員の皆様の育児と仕事の両立を支援するため、内閣府（公益社団法人全国保育サービス協会に委託）が実施する「ベビーシッター派遣事業」の助成を受けています。ご希望の方にベビーシッター派遣事業利用割引券を交付しますので、男女共同参画推進室までお申し込みください。

利用対象者は、本学教職員（私学共済加入者）で乳幼児または小学3年生までの児童（※）の保護者であること、配偶者のいる方は次の①②のいずれかに該当する方となります。

- ① 配偶者が就労していること。
- ② 配偶者の病気入院等によりベビーシッターサービスを利用しなければ就労（職場への復帰を含む）が困難な状況にある場合。

※身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている児童の場合は、小学6年生まで利用可。

本学は株式会社ポピンズと法人契約を結んでいます。詳しくはHPをご参照ください。





澤渡 千枝 室長
(生活環境学科)

男女共同参画推進室では、本年度開設された女性活躍総合研究所のグローバルかつ長期的な視野での研究・教育活動をサポートしながら、男女を問わず一人一人が仕事や研究活動において個性と能力を発揮できる機会と環境を整えるべく、教職員や学生・院生の皆さんが今現在直面している困難や問題に、専門員の先生方、私市部長をはじめとする充実した事務スタッフが一体となって向き合っています。3代目室長は本年4月からの新米ですが、男女共同参画推進室会議メンバーはベテラン揃いです。ご意見ご相談、サポート制度の利用など、気軽に推進室をご活用ください。

男女共同参画推進室会議メンバー

- 澤渡 千枝 (室長)
- 河合 優年 (副学長)
- 中村 明美 (専門員・教育学科)
- 中尾 賀要子 (専門員・教育研究所)
- 宇佐美 彰規 (専門員・英語文化学科)
- 大野 勝利 (専門員・法人室長)
- 私市 佐代美 (事務部長)

子育て・介護・働き方相談窓口のご案内

子育て・介護・働き方の悩みや不安を、一人で抱え込んでいませんか？
専門員または学外相談員がお聴きします。どんなに小さなことでもご相談ください。
ご相談内容は秘密厳守です。事前に男女共同参画推進室までお電話かメールでご連絡ください。
(HPのお問い合わせフォームからも可能です)



2020年度は新しく、学外相談員（働き方）に大山氏、専門員に英文の宇佐美先生が担当されます♪

学外相談員



[介護] 濱淵 美保子 氏

居宅介護支援事業所
(ケアプランセンター)
代表・ケアマネジャー
(介護支援専門員)・
社会福祉士



[子育て] 森田 恵美 氏

元寝屋川市立保育園
所長
寝屋川市立こども
センターにて育児
相談を担当



[働き方] 大山 富美子 氏

元男女共同参画
推進課長

専門員



中村 明美
(教育学科)



中尾 賀要子
(教育研究所)



宇佐美 彰規
(英語文化学科)

本年度9月より、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）連携校である奈良女子大学のワークライフバランス支援相談室を利用できるようになりました。

本学では行っていない、産婦人科医への相談（メール、オンライン相談含む）が可能ですので、ご希望の方は男女共同参画推進室へお申し出ください。

○ 授乳室のご案内 ○

本館4階の多目的室を授乳室としても利用できます。職場復帰前に大学にお越しの際などにご利用いただけます。
事前に男女共同参画推進室にお電話ください。



○ こでまり文庫 ○

絵本や児童書などの書籍やおもちゃ、これまでに実施した統計学セミナーのDVDを揃えており、本学教職員・学生を対象に貸し出ししています。

貸し出し・返却は、直接、男女共同参画推進室にお越しください。

「こでまり文庫」の本棚

<http://booklog.jp/users/mukobook>



研究支援員制度とは、出産・育児・介護・看護で勤務時間を制限せざるを得ない研究者をサポートするために、研究支援員を派遣する制度です。



利用者の募集について

【時期・方法】年2回募集。2月に次年度募集、8月上旬に当年度後期募集をinfo@MUSESにてお知らせ

【対象者】専任・嘱託の女性研究者または、大学、大学共同研究機関、独立行政法人にて研究職に従事している配偶者（専任研究者）を有する専任・嘱託男性研究者で、且つ下記①～③のいずれかに該当すること
 ① 妊娠中又は小学6年生までの子ども、もしくは障害児・者を自身が主として養育している研究者
 ② 配偶者、または2親等以内の親族を看護している研究者
 ③ 要介護者である家族を介護している研究者
 ※但し、研究者自身が産前産後休暇・育児休業・介護休業を取得している期間は支援対象外

利用者(教員)の声

五藤 佳奈 講師（健康・スポーツ学科）



私が研究支援員制度を利用したきっかけは、私自身が妊娠・出産とこれまでのライフスタイルから新しいライフスタイルへと変えていかなければならない状況になった時、同じ実験室の先生からこの制度を教えていただき、利用させていただくことになりました。

今は週に1回のペースで研究支援員さんに来ていただき、研究の支援をしていただいています。具体的には実験の補助、分析、翻訳など、多岐にわたり支援をしていただいています。

研究支援員さんの支援により、私の研究は非常に充実して遂行することができています。また、色々と相談しながら進められるので、心理的にもゆとりをもって研究することができています。今後もこの制度を活用させていただき、研究に邁進したいと思います。

研究支援員の声

廣光 佑哉 さん（同志社大学大学院 スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻）



修士課程に在籍していた頃の大学の先輩からお誘い頂いたのが、研究支援員になったきっかけでした。また、五藤先生のされている研究が私の研究分野とも関連していることもあり、研究支援員として共同研究させていただくこととなりました。

研究支援員になって良かったことは、専門の研究に関する知識および研究手法を学べた点です。研究者として活躍されている先生のもとで伝統的な手法や最新の知識を直接学べる。そして、その先生が行っている研究に携われることは、研究者を目指す私自身にとって多大な恩恵を享受できていると感じています。

毎月1回開催中!!

年度毎の研究支援員制度利用者数

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
利用者数	9	11	13	15	15	13



今回の研究支援員制度利用者募集は2月です。ご応募お待ちしております！事情により、急きょ、必要になった方は、応募期間でなくても遠慮なくご相談ください。

女性活躍 総合研究所

オンデマンドチューターのご案内

ネイティブの先生によるオンライン(Google Meet)での個別レッスン「オンデマンドチューター」のお知らせです。英語論文添削、プレゼンテーション、英会話の練習又は、国際学会や海外出張に行く前の準備として、ぜひご利用ください!!

【対象】本学教職員、大学院生
 【参加費】1コマ30分500円
 ※メールでの事前予約制
 ※開催日はMUSESにて広報します。
 詳細はそちらをご確認ください。

大変丁寧に添削して頂き、おおいに参考になりました!

画面共有も使い、確認しながら訂正できたため、やりやすかったです。

利用者の感想より

学校法人武庫川学院 武庫川女子大学

男女共同参画推進室

TEL : 0798-45-3542 FAX : 0798-45-3535
 Mail : gsankaku@mukogawa-u.ac.jp
 URL : http://mukogawa-gsankaku.jp

〒663-8558兵庫県西宮市池開町6-46 本館4階 407号室

女性活躍総合研究所

TEL : 0798-45-3737
 Mail : iwcareer@mukogawa-u.ac.jp
 URL : https://www.mukogawa-u.ac.jp/~iwcareer/